



令和 6年 6月26日

ご関係の皆様方へ

大阪市立大隅西小学校  
校長 原 雅 史

「主体的対話的で深い学び」のある授業づくり研究

## 大隅西小学校「公開研修会」のお知らせ

(第36～39回教志塾)

向夏の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、まことにありがとうございます。本校では、新学習指導要領が掲げる「主体的・対話的で深い学びのある授業（＝学び合い）づくり」を研究テーマに据えて、日々研鑽を重ねているところです。6月19日の全市公開には、千葉県や愛知県など50名以上の方にお越しいただきまことにありがとうございました。（皆様からいただきましたアンケートや質問も添付しております。よろしかったらご一読くださいますようお願いいたします。）

今年度も夏の公開研修会を行います。各校研修会等でお忙しい時候かと存じますが「主体的対話的で深い学びのある授業」の実践研究の1つとして、ぜひご参加いただき、皆様とともに学び合えますことを願っております。どうぞお気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 1 開催日時

月 日	時 間	学年 教科	内容
8月19日（月）	9～12	4年 算数	授業ビデオ視聴、研究協議、講話 神戸市のN小学校の授業で、子どものわからなさに寄り添い、困り観を共有化していく素敵な授業をご覧くださいと思います。
8月20日（火）	9～12	5年 国語	授業ビデオ視聴、研究協議、講話 全市公開の「前日」に録画した「あめ玉」の授業を視聴します。子どもから子どもに、言葉がつながる珠玉の授業をご覧くださいと思います。
8月21日（水）	9～12	3年 社会	模擬授業、研究協議、講話 地元の商店に密着して社会科の授業をつくっていきましょうと思います。新たなパンを企画して販売することはできるのでしょうか？
<b>8月23日（金）</b>	9～12	<b>管理職のみ 対象です</b>	研究協議、講話 「主体的対話的で深い学びのある授業」づくりを管理職としてどうすすめるのか？本校で行ってきたことを全て公開いたします。

2 会 場 大阪市立大隅西小学校 （大阪メトロ「瑞光4丁目駅」下車 南東へ200m）  
大阪市東淀川区大隅2-3-18 電話 6328-6557

3 申込方法 ① スキップメール 大阪市立大隅西小学校 教頭 里山 恵介 まで  
② F A X 別紙のF A X送信票でお申し込みください。

## ■ 大隅西小学校 研修会・研究会の予定

下記の研修会、研究会は原則全て公開しております。

参加を希望される先生は、上記同様本校へご連絡ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

月	日	曜	全市公開	ビデオ研	校内研修	公開研修会	講師	担当・授業者
4	1	月			1		校長	学び合いとは 1
	5	金			2		校長	学び合いとは 2 (兼新転任研修)
5	22	水		1				ビデオ研 4年2組 算数
6	19	水	1				石井 t	全学級 中心授業 5年1組
7	10	水		2				ビデオ研 6年1組 (社会)
	17	水				★	上坊 t	【ボードゲーム研修会 1】
8	19	月				1	校長	算数科 公開研修会 (兼 東淀川区教育研究会)
	20	火				2	校長	国語科 公開研修会
	21	水				3	校長	社会科 公開研修会
	23	金				4	校長	管理職対象研修
9	12	水		3				ビデオ研 (未定)
10	2	水		4				ビデオ研 (未定)
	16	水		5				ビデオ研 (未定)
11	6	水		6				ビデオ研 (未定)
	28	木	2				石井 t	全学級
12	11	水		7				ビデオ研 (未定)
						★		【ボードゲーム研修会 2】
	23	月				5	校長	体育科 公開研修会 (サッカー)
1	17	金	△					石井先生来校日
	22	水		8				ビデオ研 (未定)
	29	水		9				ビデオ研 (未定)
2	21	金	3				佐藤学 sv	全学級
	26	水			8		校長	1年間のまとめ

アンケートで質問をいただいたものに、回答を添えております。が、この学び合いについての質問は、なかなか一口でお答えするものが難しいものがあり、十分な回答になっていないことを、予めご了承くださいませようよろしくお願いします。

(1) 佐藤学先生の学びの共同体について知り、授業研究の在り方や子供の学びから授業を語るとはどういうことか興味があり、今回の公開授業に参加させていただきました。恐らくもう何度も(色んな方が)質問されたことだと思いますが、参観させていただき疑問に思ったことを述べさせていただきます。

・本時のめあてについて。

この45分に何ができるようになればいいのか?何をふり返していればOKなのか。評価はいかに。

⇒授業者にめあてはありますが、それはあくまでも授業者の中で、文学の授業においては子どもの読みに寄り添うことが大前提となるので、授業者のめあては表にはでないことも多々あります。この授業においてのめあてを強いて言うならば、「子どもとこの作品をじっくり読み味わう」ということになりませんが…。

・6年社会

全部で4枚の資料[←何故あの4枚?あの(資)は授業後回収??]の提示をされていました。学びを広げ、深めていく意図があったと思うのですが、1枚1枚の(資)からの学びがぶつ切りで、一番子どもたちに考えさせたかったことは何なのか、うすまってしまったように感じました。争いからの流れで「縄文」にくらいしたいという子が増えるのは予想できます。それを意図していたのか。多様の答えをOKとしながらどのような着地点を考えていたのか気になりました。

⇒先の回答に重なりますが、社会の授業でもあくまでも子どもの感じたこと、疑問が授業の軸となります。もちろん、単元の内容から大きく外れたら修正は必要ですが…。これも強いて言うならば「資料から感じたことを友だちと聞き合い、縄文・弥生時代の人々に思いを馳せる」ということになるでしょうか。

・5年国語

教科書教材ではなくなぜ単発のこの教材を使用したのか。

⇒子どもと読み味わいたいと感じたからです。

国語における学び合いのスタイルは他にもあるのでしょうか(どの学年もこのような形?)。

⇒「学び合い」は授業スタイルではなく教育哲学の話です。どのような子どもを育てたいか、そのためにはどのような作品に出会わせたいかという底流にあるものの共有化は図っていますが、方法は1つではありません。ただ講義一斉型では「主体的対話的で深い学び」のある授業をつくりにくいところだけは共通理解しています。

例えば動作化とかはあまり聴き合いにはならない?

(T) がいくつかの発問を重ねていくのですが、読み味わうというより、場面のよみとりのように感じてしまいました。

⇒確かに後半の「お母さんの気持ち」を問う発問から子どもたちは思考が止まり勝ちだったと思います。ただ、前半は見事に子どもの気持ちをつないだ展開になっていたかと思います。授業を見とるときに、教師の所作も気になりますが、子どもが学んでいたかどうかというところに本校の研究は主軸を置いていますのでご理解いただけましたら幸いです。

また参加させていただければ幸いです。

今日はたくさんの学びをありがとうございました。

(2) 子どもたちの疑問から始まり子どもたちの言葉でつないでいく授業。とても素敵でした。他の教科や国語でも指導したいことがある場合等どういふさじ加減でやるのか、子ども達の学びを深めていくための授業者のつなぐ言葉がけの仕方など、もっとたくさんの授業を見せて頂きたいと思いました。ありがとうございました。

⇒学年、教科や内容にもよるのでさじ加減を一概には言えないかと。そのつどつど変えていくのですが、子どもが学ぶかどうかを中心に授業を行うことができれば、自然とそのさじ加減はできていくものかなと考えています。

(3) 本日はどの学年もしつとりとし落ちついた授業を見せて下さりありがとうございました。冒頭で研究して1年と少しというのは大変びっくりし、この間の先生方のまとまりと努力を感じました。学校

体制（どのクラスも少ない人数。担任外は？）など質問したいことはたくさんありましたが、また数回来校して学ばせて頂こうと思っています。「学びの途中」でこうやって公開して下さったこと、本当にありがとうございました。本校でも一歩ずつ前へふみ出して行きたいと思います。

⇒学級編成については、工夫をしております。欧米の小学校は「1校」あたりの平均人数が70名以下と聞きますので、日本の学校・学級は少し規模が大きすぎるのだと思います。

（4）学びの場をつくっていただきありがとうございました。学校として大切にされていた「伝え合う活動は子どもの居場所づくり、そして自立した学習者」を育てる上で、必要な手立てであると感じました。ただ「伝え合う」文化を醸成していく上で、机席の配置や教師の立ち位置は、これがベストではないように考えられますが（子どもの伝える（伝えたい）相手が教師になっている）、これまでに議論されたことはありますか。どのような経緯で現在の教室環境になっているかを教えていただきたいです。

⇒座席、立ち位置はまだまだ議論の余地のあるところだと思います。本校でも班の人数、机の形、班の隊形などいろいろやっているところですが、今のところ、高学年については、今回の男女千鳥の4人班、子どもと目線を合わせるために座って授業をするスタイルが一番人気があります。

（5）本日はありがとうございました。前任校で学び合いをかじりました。今は全く文化の違う学校に異動し、最初は苦しくて辛かったのですが、すっかり今の学校に染まってしまったんだと今日、気付かされました。[先生がしゃべらない授業]がやっぱりすてきだと思いました。その辛かった理由を質問させて下さい。「この授業のゴールは？」「着地点は？」という言葉がよくとびかっているのですが（今の学校では）・学び合いの学習のその時間でのゴール（めあて）[←大切だと思っていますが学び合いの中でその1時間のゴールをとらえるのが、私は難しかったです。]を御校ではどのようにとらえていますか？

⇒先にも述べましたが、学びの中心は子どもです。めあてはどちらかというと、「どのような力を身につけさせたいか」という授業者サイドの観点で、子どもはそのようなことを考えて授業に臨んでいない

と思います。したがって本校では、目当ては書く必要があれば書いて、そうでない場合は書かなくても良いことになっています。

校内で、みんなの気持ちをそろえてとりくむって難しいなと私は感じています。

教員のベクトルをそろえるための工夫も、ぜひ教えていただきたいです。

（6）本日はありがとうございました。本日の授業で教師が前で座って、子どもたちが中心で進めていく進め方を見て感銘を受けました。子どもの感想を中心に教師がファシリテートすることで、子どもたち自身で学びを深めていく姿はすばらしいと思いました。講師の石井先生からあったように教師が透明人間のように子どもを見とることの大切さをあらためて感じました。疑問として物語文のような文学作品特有の「音読」や「作品の魅力を伝える活動」にどのようにつなげていかれるのか。物語文（文学作品）だからこそできるものもあるので。本日の学びを学校に持ち帰り本校の研究を進めていきたいと思いました。

⇒学びの中心は子どもです。子どもがどのように感じるのか、ある程度の予想は立ちますが、完全には無理ですし、そもそもそのような予想をすることにそれほど値打ちがあるようには思えません。それよりも、授業者自らがしっかりと作品を読み込み、作品研究を行い、筆者や作品の背景などを心に入れて授業に臨むことで、子どもの読みをより深めたり味わせることができるのではと考えています。そして、このような展開をつくるためには音読が必須です。今回冒頭12分そのあと数回音読に戻りましたが、もうあと少し音読に戻ってもよかったのではと感じています。

（7）初めてみた授業スタイルで驚きの連続でした。いつからこのスタイルを始めて、どのような仕掛けのもとにこの環境をつくったのか、活発に発言しあっている中で先生が話し出すとぴたりと静かになる、これをどのようにして定着させたのか、多動や支援を要する子はどのようにして授業に参加することができているのか等、疑問が次々と出てきました。この授業1つではわからないことも多いですが、自校の教育活動、授業をアップデートする大きなヒントをいただいたと思います。大変勉強になる授業をみせていただきありがとうございました。

⇒たくさんの質問ありがとうございます。仕掛けと

というか、理念の共有化は 1 年前からです。学び合う子どもの姿を映した授業ビデオを使った授業研究会を毎月行い、また私が各教室で見た子どもたちの学び合う姿を「通信」という形で先生方と共有化していきました。支援を要する子どもも基本的にはペアやグループの活動の中で一定学びに向かっていきますが、やはり子どもの興味関心を引く、それでいて一人ではわからない課題を準備することで、学び合う環境ができていったと思います。

(8) どの学級もだれもとりのこさない、1 人にしないという雰囲気があり先生たちのクラスづくりがよいなと思いました。学びの共同体であるというお話を受けて、自分の中でどうしても子どもたちに教えないといけない思いがあるので反省だなと思いました。子どもの学びが意図していない方向に向かったときにどう軌道を修正していくかを考えていましたが、それすらも先生よりの授業になっていくのかなと感じました。(時には修正しなければの時はありますが) どのように授業をつくられているのか、教材研究のところも知りたいなと思いました。本日はありがとうございました。

⇒先にも述べましたが、学び合いの根底にはフラットな人間関係と、全員が夢中になれる少し難しいジャンプの課題が必須です。その課題をつくるのに本校のどの先生も毎日大変苦慮していますが、最近では Instagram や TikTok でもいい課題が流れているので、参考にしている先生は多いみたいです。

(9) 今年から、私のところも令和の日本型教育について研究していています。その中で主体的な授業とは、対話的な授業とはと考えます。今日、午前中から授業を拝見し、どのクラスも班の形やペアと話し合い、自分の考えを深めたり、修正したりしており、とても対話的でした。「主体的な学び」として問や課題をもって、見通しをたてるというのは難しいですが、意識して子どもが課題設定できるように、発問することが必要だと思いました。

ICT はどのように利用しているのかなと、疑問に思いました。今日はありがとうございました。

⇒タブレット PC はほとんどの時間で活用していますが、国語の文学のときはあまり使っていないかもしれません。ICT、PC は文具の 1 つと考えています。定規やコンパスを使う授業もあれば使わない授業もあるように、PC も資料さがし、意味調べ、画像検索など必要があれば使うという感じでやって

います。

(10) 「学び合い」の授業は、初めて見させていただきました。先生が座ったままのスタイルは、衝撃でした。中心授業を見ましたが、授業の中で「おさむらいさん」と「さむらい」という書きぶりの違いに注目した子がいました。永井先生は、「なんでやろね、グループで話し合ってみましょう」とすぐにグループに返しました。児童が見つけた疑問がまた次の話題になっていくのか、見ていて楽しかったです。そして、こうやって学び合いをすすめていけばいいのかな? と授業づくりのヒントを頂きました。一方で授業者の反省でもありましたが(先生、困ってそう・・・なんか言ってあげないと・・・)の感じは、見ていても、そう感じました。子どもが主体的になるとは、「学びたい課題があること」だと思います。今日の授業の中で、子どもの課題は何だったのだろうか? と考えてみたいなと思いました。良い実践を見せて頂き、ありがとうございました。

(11) 中に入れず別室モニター視聴していましたが、先生や子どもの発言は、ほぼ何を言っているかよく分かりませんでした。しかし様子は分かったので助かりました。討議会で「〇〇さん」児童の発言、様子から自分の感じたことを伝えている先生たちの姿が印象的でした。読むとは 読みえがく こと。初見のお話で指導書(いわゆるよりどころ・・・)も見ないままで よみえがく とさむらいはやさしいと読んだ自分、 子どもがだだをこねている姿に、「早くしずかにねたい」と思って行動したのかと読んだ自分、 自分をみてわらっていた子どもたちを愛らしく、なだめようとしたのかと読んだ自分・・・ たくさんでてきてでてきてたのしくよみました。正確なこたえを一番求めているのは授業者なのだと実感しました。もちかえって、メンター研修で伝えたい!! と思いました。今日は、思い切って参加して良かったです。ありがとうございました

(12) 中心授業をみて。はじめは児童が自ら意見を述べることに注目していましたが、途中で他者の意見を大切にしながら自分の意見を述べているということに気づきました。まだ現時点では そこでとどまっているのかなという気もしましたが、このような活動をつづけていくうちに、より深く 物語の場面や登場人物の心情を考えていくようになるのか

なと思いました。

(13) 今日はありがとうございました。大変得るものが多かったです。「主体的、対話的、深い学び」に興味があり、本日参加させていただきました。初めてみせていただき、しょうげきを受けました。普段している授業とは全く違いました。子どもたちが常に思考を働かせている姿がとても印象に残っています。永木先生が喋りすぎてしまったとおっしゃっていたのも驚きました。沈黙の時間にしっかりと考えている子どもたちの姿を見て、待つことに私も挑戦しようと思いました。子どもたちが聴こうとする姿、指名、挙手なしで発言する姿

自分の考えではなく「〇〇さんが～と言っていました」等友達の発言を言える姿等々どれも素敵でした。子ども同士がしっかりとつながり学び合える支え合えるような学級づくりに私も取り組んでいきたいです。たくさん勉強させていただきました。ありがとうございました。

(14) ペアの学び→1人にしない学び。グループの学び→4人以上にしない。学びにバラツキが出る。話し合いに先生は入らない。本日朝から参観させていただきました。

全ての学級の学習が、今まで進めてきた学習形態と違っていておどろきました。必ず挑戦してみたいです。中心が子どもの共同の学びということで、学習の中で子どもが何を感じ何を学ぶかを見極めないといけないということでしょうか。子どもの発表の1つ1つ、行動の1つ1つを大切にそれが学習を進めていくと思うとワクワクします。子ども自由が、学習を楽しめる大きな要素だと感じます。主体的に学んでいくんだと感じました。今後学びの共同体を進めていく上で、小さなことでもご助言をいただけたらありがたいです。次も必ずきます。

(15) 初めてみる形の授業でしたが、協議をしたり、石井先生の話聞いて、とても大事なことを学ばせていただきました。ありがとうございました。子どもの学びについて深く考えさせられました。

(16) 初めて参観させていただき、たいへん感動しました。今まで子ども主体の授業を展開していたつもりでしたが、まさに「つもり」でした。子どもが学び合い、物語の中に深く入っていく様子を見ることができ、子ども主体の授業とは何か、初めてわかりました。永木先生の子どもに向き合う姿勢や語りかけ方が心地よく、それがクラスの居心地の良さ

につながっているのだと感じました。子ども同士のつながりを生みだすための授業。そのための教師の子どもに対する姿勢。それを支える学校の体制。今日、来校させていただいて、そういったことをひとまとまりで学ぶことができました。ありがとうございました。「さむらい」と「おさむらい」の違い。外言と内言の違い。なぜ内言が出たか？母親の緊張が最高に高まったから、そこに気づいた子どもはすごいです。やはりここは深掘りすべき場面だったと思います。

(17) 前任校で石井先生ご指導のもと、学び合いの授業について研究させていただいておりました。この度、大阪でどのような授業がおこなわれているのか勉強させてもらいに来ました。まだ研究が1年ちょいというところに驚くほど永木先生の授業が落ちついた雰囲気で、とてもよかったと思いました。授業では「お母さんは、こわがっていた」「そこまでじゃない」の話がでたとき、『どこからそう思った？』と先生が聞き返すことで解決できた場面があった様に思いました。また、話題があがり、話が深まったとき、逆に話がこじれて迷走している時はもう一度本文にもどり音読に返すことでよくなることもあると思います。ただ、先生が普段から子どもたちの話にきちんと耳を傾けて、一人一人の意見を大切に授業をされているんだなと子どもたちの表情や雰囲気をみて分かりました。今の学校にも取り入れられそうな所を探したいと思います。ありがとうございました。

(18) 本日は、午前中から多くの授業を見せていただきました。どの先生も、子どもたちが支え合う関係づくりに向けて施行錯誤されている様子がうかがえました。対話することの意味、良さを子ども自身が感じながら、主体的に考えたり聞き合ったりするには、子どもの発達の段階と指導者のそれまでの指導・支援が大切なのだと感じました。子どもたちが必然性を感じ、自然に学び合う6年1組の姿がとても印象的でした。グループの学びを全体で共有するには・・・私自身、これからも考えたいと思います。貴重な機会を、ありがとうございました。

(19) 今日はありがとうございました。来てとても良かったです。「あめ玉」やってみようと思います。永木 T がニコニコと子どもの姿を尊重している様子がとてもあたたかかったです。もっと深めれそのような場面はあったと思いますが子どもたちの空気感

に任せたいという永木 T の思いもあったと思います。このあたりが授業の難しさだとつくづく感じさせられました。

(20) 5 時間目の中心授業から参加しました。今回見させてもらった授業スタイルは、はじめてだったので目から鱗でした。教師の言葉を極力少なくしていた分、子どもたちの声がよく聞こえました。友だちの意見を聞いて、賛成、反対、付け足し等 話すタイミングも図りながら発表している姿に、主体性をとても感じました。ペア、グループでの会話で誰も取り残されておらず、全ての児童が同じ時に同じ事について考えることができていて驚きました。研究協議、講話を経て、教師の役割、1 時間の授業の進め方、音読の大切さ、意見の広げ方等学ぶことがたくさんありました。校内研修で共有、さらに考えを深めようと思いました。

(21) 本日は貴重な公開授業をありがとうございました。5 年前本校で勤めていたので、温厚でのびのびと学ぶ変わらない子どもたちと、和やかで温かい雰囲気を大切にする学級、学校づくりに学ぶことがたくさんの 1 日でした。学習指導要領のキーワードに「対話的」とありますが、“話す”土台となるのが、「聴く」ということだと思います。本日の各教室で指導者が「聴き合いましょう」と指示していました。“話す”ということはハードルやリスクが高いですが、「聴く」ということは全員にとって取り組みやすい学習です。「みんな私の意見を聴いてくれているんだ」という安心感が教室に広がっていき、やがて活発な対話が生まれていくことを実感しました。子どもたちが自然「な」会話の中で疑問や気付きを出し合い、そこから新たな学びやアイデアを生み出すような授業、学級づくりをめざして、本日の学びを明日からの実践に生かしていきます。

(22) 本日はありがとうございました。以前より興味をもっていたのですが、本日はじめて授業を見させていただきました。これまでの授業の概念をくつがえすところからはじめられていると思うので、自分が思うような一般的な考えは、みんなが思うところかと思います。その上で、まずは自分もできることをやってみて、理解していけたらと思います。グループをつくって、すわってみて、少しずつ進めてみます。

(23) 一日お疲れ様でした。とても充実した一日になりました。(協働体+先生の個性) ≡ 2 みたい

な授業がたくさん見れてそれぞれのカラーがあり、とても楽しかったです。

3 年生のジャンプの課題では、設定も分かりやすく、100 円、205 円のしぼりが、とても生活に近かった様に思いました。子どもの目がキラキラして、話し合うのに夢中だった姿に「いいな」と思いました。4 年生の手作り測定器も始めて見たので、すごく面白かったです。実際に測りに行くまでに 3 分と短く、先生の言葉がスッと子どもに入っている様に見えました。

(24) 研究会に参加させていただき、ありがとうございました。中心授業から参観させていただきました。子どもたちが楽しそうにグループで語り合うすがたがとてもよかったです。

子どもたちが「〇〇さんが～と言っていました。」という発言の仕方が印象的でした。友だちの考えを聞(聴)こうとする姿、友だちの考えを伝えようとする姿、素敵だなと思いました。聴いてもらえる安心感があるから、発言もしやすい、語り合いやすいんだらうなと感じました。研究協議では、他の学校の先生とお話する機会をいただき、その時間でも「学び合い」とは、なんぞやがすこしわかった気がします。評価しなければいけない 教えなきゃいけないと教師が思いこみすぎているところが、子どもの主体性をうばっているのかもしれないなと感じました。石井先生の講話では、子どもたちの力を信じて教師が何事も受け止めることが大切なんだらうなと感じました。最後に、今回は中心授業しか参観できませんでしたが、他の学級の授業も参観してみたいと思いました。本日はありがとうございました、とても勉強になりました。

(25) 今年から、私のところも令和の日本型教育について研究していています。その中で主体的な授業とは、対話的な授業とはと考えます。今日、午前中から授業を拝見し、どのクラスも班の形やペアと話し合い、自分の考えを深めたり、修正したりしており、とても対話的でした。「主体的な学び」として問や課題をもって、見通しをたてるというのは難しいですが、意識して子どもが課題設定できるように、発問することが必要だと思いました。

ICT はどのように利用しているのかなと、疑問に思いました。今日はありがとうございました。

(26) どの教室でも、やわらかくあたたかく学びに向かう子どもたちの姿が素敵でした。そして子ど

もたちへの先生方のまなざしとやさしい言葉かけで、いごちのいい安心できる教室になっているのが素晴らしいと思いました。公開授業での先生方の学びにむかう姿に学ばせていただきました。今の学校で何ができるか完之」ていきたいと思います。大隅西小の先生方、1 日見学させていただきありがとうございます。原先生、ありがとうございました。

(27) 研究授業に参加させていただきありがとうございました。学び合いの、聴き合う関係というものがイメージできました。子どもたちが、友達の考えを聴きもらすまいと、体を向けて聴いている姿は本当にステキでした。私も、あのような子どもたちの関わりをつくっていききたいと思いました。

(28) 5H の授業を参観しました。いろいろギモンやききたいこともありましたが、石井先生のお話」の中」でいくつかすっきりしました。まず、主体的な学びとは、どういう姿なのか？決して、全員が発言した、子どもが自ら話し出したといった姿ではないこと。学習の課題がなんでそこに向かってどう取り組んでだかが大切であること。「学びの主人公は子ども」私の授業スタイルもエンタメ風なところがあるのを反省させられました。2 点目に授業や子どもを見とる眼力について。私は同じ授業を見ていても

全く本質を見取れていなかったなあと感じました。こうした視点や見方も教わると同時に、全ての子どもを伸ばしたいという深い深い思いが自分にあるのか問うてみました。大きくこの 2 点の学びがありました。また学校に戻って学びを拡げて参ります。ありがとうございました。

(29) インクがなくなってしまう、赤ペンで書かせて頂きます。中心授業からの参加でした。私は、この春から 4 年生の担任をしていて、正直毎日を過ごすのに追われています。

授業準備は、時間はかけていますが、どんな状態が良いのかも分からず、日々悩んでいます。

今日の永木先生の授業は、私にとってとても新鮮なものでした。先生が座っている、ほとんど話さない、机間指導をしない。何もかもが私の知っている「授業」とちがって衝撃を受けました。その中でも、子ども達は、自分の頭で考え、」友達の意見に耳を傾け、主体的、そして対話的に学んでいたように思います。自分の授業にも生かせそうなことを明日からやりたいと思います。

F A X 番号    0 6 - 6 3 2 8 - 6 3 5 2

全市公開授業・ビデオ授業研究会の申込    参加申込書

送付先	大阪市立    大隅西小学校
	教頭    里山    恵介
	T E L    0 6 - 6 3 2 8 - 6 5 5 7
	F A X    0 6 - 6 3 2 8 - 6 3 5 2

送付元	所属名 (学校名)				
	ご担当者				
送 付 期 日		各公開授業・研究会の2日前まで			
件 名		全市公開授業・ビデオ授業研究会の申込			
参 加 者	職 名	お 名 前	参加希望日		

【お問合せ先】
大阪市立大隅西小学校
(電話) 06-6328-6557
教頭    里山まで